

ライオンズクラブ国際協会
330－A地区 第50回年次大会

議 事 録

2004年4月17日（土）

会 場
東京プリンスホテル

代 議 員 会 ・ 議 事 要 録

(午前 10 時開会)

(開 会 宣 言)

○司会(大会幹事 清水 治)

ただいまより、ライオンズクラブ国際協会 330－A 地区第 50 回年次大会代議員総会を開会いたします。

本日の司会進行を担当いたします大会幹事の L 清水治でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。(拍手)

なお、本日の代議員会につきましては、ご承知の通り次期副地区ガバナーの選挙がございます。国際会則が変更になりまして、過半数以上の得票数をもって当選と決められております。従いまして、2 名の決戦投票となる場合には、代議員会が再開および再々開となることが予測されますので、あらかじめご承知おきください。なお、代議員の方々は、途中でご退席、お帰りになりませんようくれぐれもお願い申し上げます。

それでは、第 50 回代議員会の開会宣言を 330－A 地区ガバナー中島洋吉 L にお願いいたします。

○中島ガバナー

おはようございます。本日は大変お忙しいところ、早朝より本当にありがとうございます。

それでは、ただいまより、330－A 地区第 50 回年次大会代議員総会を開会いたします。どうぞよろしくお願いいたします。(拍手)

(大会議長・副議長の紹介)

○司会

ありがとうございました。

それでは、議案集 2 頁にあります「年次大会議事規則」第 3 項によりまして、中島洋吉ガバナーに議長を、また、山浦晟暉副地区ガバナーに副議長をお願いいたします。

それでは、議長、ごあいさつをお願いいたします。（拍手）

○議長(大会議長 中島 洋吉)

ただいま、ご紹介を頂戴いたしました、今期 330-A 地区ガバナーを務めております東京柳橋ライオンズクラブ・L 中島でございます。

本日は、私どもの先輩であります歴代のガバナーも全員出席いたしておりますが、お許しをいただきまして、一言だけごあいさつをさせていただきたいと思います。

本日は、大変お忙しいところありがとうございます。私が今期、3 つのスローガンを掲げさせていただきましてスタートいたして、早いもので、きょうで 4 月を迎えました。第 1 番目には、アフガニスタンの学校支援の問題、2 番目には、情報伝達の I・T 化、Eメールによる情報伝達、そして第 3 番目には、ヤングライオンズの立ち上げということで、3 つのことを掲げさせていただきました。皆さんの温かいご支援、ご協力の賜物で、すべてが順調に進行いたしていることをご報告申し上げます。

アフガニスタンにつきましては、昨日、成田に子どもたちが 8 名、そして先生が 2 名で到着いたしまして、きょう後程、また式典の時に皆様に温かいご支援をいただければ大変ありがたいと、そのように思っております。その国の教育はやはり子どもの根幹から始まるのではないかとということで、教育支援に踏み切ったわけでございます。

また、I T につきましては、I T 委員会の皆さんが大変ご努力していただきまして、メールで一斉送信で、199 クラブ・6 千人のメンバーの皆さんにいかにも速く正しく伝達するかということでメールを開設させていただき、順調に推移いたしております。

3 番目に、ヤングライオンズの件でございますが、ヤング委員会の皆さんが大変に元気に活躍していただきまして、おかげさまで「スバルライオンズクラ

ブ」「サンシャインライオンズクラブ」の2つができ上がり、結成式も終わり、今月の29日には、「スピリット21」というライオンズクラブが立ち上がります。3つのクラブができ、そのほかにもまだ2つか3つ、私の期にできるのではないかなというふうに思っております。

素晴らしい優秀なメンバーの皆さんの温かいご支援をいただいて、これからの残された日にちをしっかりと努めていきたいと思っております。どうぞよろしくご指導をお願いして、ごあいさついたします。

きょうは、どうもありがとうございました。（拍手）

（各委員会分科会正副委員長・顧問の紹介）

○司会

どうもありがとうございました。

次に、中島議長より各委員会および各分科会の役員のご紹介と、大会議事規則についてご説明をお願いしたいと思います。

○議長

本代議員会の各委員会・分科会の正副委員長および顧問の方々は、議案集6頁および7頁に記載された通りでございますので、ご参照いただくことによって、ご紹介に代えさせていただきたいと思えます。

本大会は、複合地区会則第20条第5項に基づき去る1月14日開催されましたキャビネット会議において決定された、お手許の議案集2頁および3頁記載の「330-A地区第50回年次大会議事規則」によって本日の議案審議をいたしますので、よろしくお願いいたしたいと思えます。

（次期地区ガバナー・副地区ガバナー立候補者紹介）

○司会

次に、次期地区ガバナーの立候補者のご紹介を「地区ガバナー・副地区ガバナー選挙管理委員会」の向井委員長よりお願い申し上げます。

○向井選挙管理委員長

次期地区ガバナー候補者は、東京新宿ライオンズクラブ所属・山浦晟暉 L お 1 人でございます。山浦晟暉 L の経歴につきましては、お手元の議案集 9 頁に記載されておりますので、ご参照をお願いいたします。

山浦晟暉 L、どうぞお立ちください。

(山浦晟暉 L、起立・一礼) (拍手)

○向井選挙管理委員長

どうもありがとうございました。どうぞご着席ください。

○司会

次期地区ガバナー立候補者のご紹介を終わります。

次に、次期副地区ガバナー立候補者のご紹介を向井委員長よりお願いいたします。

○向井選挙管理委員長

次期副地区ガバナー候補者は、浅草ライオンズクラブ所属の丸山真司 L、東京練馬ライオンズクラブ所属の長井隆充 L、東京上野東ライオンズクラブ所属の中村保彦 L、そして東京立川ライオンズクラブ所属の森山勇 L の 4 名でございます。

丸山真司 L、どうぞご起立ください。

(丸山真司 L、会場最前列に進み、代議員に一礼) (拍手)

丸山真司 L の経歴につきましては、議案集 10 頁に記載されておりますので、ご参照ください。丸山真司 L、ご着席ください。(拍手)

続いて、長井隆充 L、どうぞご起立ください。

(長井隆充 L 会場最前列に進み、代議員に一礼) (拍手)

長井隆充 L の経歴につきましては、議案集 10 頁に記載されておりますので、ご参照ください。長井隆充 L、ご着席ください。(拍手)

次に、中村保彦 L、どうぞご起立ください。

(中村保彦 L 会場最前列に進み、代議員に一礼) (拍手)

中村保彦 L の経歴につきましては、議案集 11 頁に記載されておりますので、ご参照ください。中村保彦 L、ご着席ください。(拍手)

続きまして、森山勇 L、どうぞご起立ください。

（森山勇 L 会場最前列に進み、代議員に一礼）（拍手）

森山勇 L の経歴につきましては、議案集 11 頁に記載されておりますので、どうぞご参照ください。森山勇 L、どうぞご着席ください。（拍手）

（資格審査結果の発表）

○司会

どうもありがとうございました。

次に、中島議長より資格審査結果の発表をお願いいたします。

○議長

本日の代議員会資格審査の結果を倉並喜代晴資格審査委員長より、ご報告していただきます。

○倉並資格審査委員長

代議員会の資格審査の結果をご報告いたします。

登録代議員数は、ガバナーを含め 584 名でございますが、本日の出席代議員は、564 名でございます。なお、出席代議員の方々全員の資格を確認し、いずれも有資格者であることを認めます。

以上でございます。（拍手）

○議長

倉並委員長、ありがとうございました。

（次期地区ガバナー選出方法の説明）

○議長

次に、地区ガバナー選出のための代議員会における選挙に関する事項について、地区ガバナー、副地区ガバナー指名・選挙管理委員会の向井利男委員長、お願いいたします。

○向井選挙管理委員長

次期地区ガバナー候補者は、副地区ガバナー山浦晟暉 L のご 1 名でございます

す。議案集 3 頁の「大会議事規則」10 項の（１）（ハ）に「候補者が 1 名のときは、（イ）、（ロ）の趣旨に則ることを条件に、別の方法によることができる。」とありますので、「別の方法」を地区ガバナー、副地区ガバナー指名・選挙委員会の指名と代議員の拍手にすることにつき、大会議長より代議員の皆様にお諮りくださることをお願いいたします。

○議長

ただいまの向井委員長の説明の通り、次期地区ガバナー選出方法を「別の方法」である地区ガバナー、副地区ガバナー指名・選挙委員会の指名と代議員の皆様方の拍手による選出方法にしたいと存じますが、よろしいでしょうか。

【拍手多数】

ご承認ありがとうございます。

それでは、向井委員長は、今の承認を受けて指名をお願いいたします。

○向井選挙管理委員長

2004 年～2005 年度地区ガバナー候補者は、東京新宿ライオンズクラブ所属の山浦晟暉 L 1 名でありますので、地区ガバナー、副地区ガバナー指名・選挙委員会は、山浦晟暉 L を次期地区ガバナーに指名いたします。（拍手）

○議長

松尾委員長のご報告通り、東京新宿ライオンズクラブ所属の山浦晟暉 L を次期地区ガバナーとして選出することにご承認いただけるでしょうか。これをご承認いただければ、拍手をお願いいたします。（拍手）

ご承認ありがとうございます。

2004 年～2005 年度地区ガバナー候補者は、東京新宿ライオンズクラブ所属の山浦晟暉 L が満場一致にて選出されました。おめでとうございます。

（山浦晟暉 L、起立・一礼）（拍手）

（次期副地区ガバナーの選出方法の説明）

○議長

次に、副地区ガバナー選出のための代議員会における選挙に関する事項について、向井委員長にご説明をお願いいたします。

○向井選挙管理委員長

次期副地区ガバナー立候補者は、先程ご紹介申し上げました東京浅草ライオンズクラブ所属の丸山真司 L、東京練馬ライオンズクラブ所属の長井隆充 L、東京上野東ライオンズクラブ所属の中村保彦 L、東京立川ライオンズクラブ所属の森山勇 L の 4 名でございます。

公開討論につきましては、副委員長の本橋 L に説明をお願いいたします。

○本橋選挙管理副委員長

ご説明いたします。年次大会議事規則 10 項（2）の規定に従って、次期副地区ガバナーの選出を選挙によって執り行います。

議案集 4 頁から 5 頁に記載の 2004 年～2005 年度副地区ガバナー選出のための代議員会における選挙に関する事項 5 項（ロ）により、次期副地区ガバナー立候補者による公開討論会を行います。

公開討論会のテーマは、2 点ございます。第 1 点は、地区キャビネット運営の重点目標でございます。第 2 点は、メンバー増強のための具体的提案でございます。この 2 点につきまして、それぞれの意見・所信を各自合計 5 分以内で述べていただきます。その後に各自合計 2 分以内で他候補の意見への反論ないし自分の意見についての補足説明を各 1 回ずつ述べていただきます。

最初の 5 分間の意見表明につきましては、その制限時間の 1 分前、すなわち 4 分経過の時に笛を 1 回鳴らします。そして制限時間を経過いたしますと笛を 3 回鳴らします。そうしましたら直ちに意見発表を中止していただきます。なお、2 分間の補足説明および反論については、途中の予鈴は鳴らしません。2 分経過後に笛が 3 回鳴りますので、その時に意見発表を終わるということをお願いいたします。

以上で公開討論のご説明とさせていただきます。

○司会

どうもありがとうございました。向井委員長、本橋副委員長、自席へお着きください。

それでは、本橋副委員長、よろしくお願いいたします。

（次期副地区ガバナー立候補者の公開討論会）

○本橋選挙管理副委員長

受付抽選順位に基づきまして、まず、東京浅草ライオンズクラブ所属の丸山真司候補者、お願いいたします。（拍手）

○丸山候補者

皆さん、おはようございます。

私はこの度、副地区ガバナー選挙に初めて立候補いたしました東京浅草ライオンズクラブの丸山真司でございます。既にハガキの写真やイラストでお目にかかっていると思いますが、これが実物の丸山真司でございます。

私は浅草ライオンズクラブの総意と地区内の多くの仲間の支援をいただき、立候補する決意をいたしました。この選挙にあたり、私は5千8百名のメンバーの良心を強く信じることから始めました。そして私の仲間のメンバーと将来の夢を語り合いながら、お互いに信じ合おうと誓い合いました。

さて、今回の公開討論のテーマでございますが、既に選挙公報で皆様にお伝えしております。まさに3本の柱。その3本の柱が今、副委員長がおっしゃったことの答えでございます。それでは、順を追ってお話しさせていただきます。

今回初めて選挙に出まして、本当に驚くことばかりでございました。初めてなので、こんなに驚くことが多いのかなと思いました。ライオンズクラブのメンバーの自分たちが決めたルールがこうも簡単に破られて、また、それすら問題にされない。皆さん、本当にこれでよろしいのでしょうか。東京ライオンズクラブができて半世紀、誇りと栄光とステータスは一体どこに行ってしまったのでしょうか。1本目の私の話の柱は、そのこの部分でございます。私は先輩たちが積み上げてきた実績を引き継ぎ、誇りを持って社会奉仕活動の行える魅力あるライオンズクラブを確立するために尽くしたいと思います。

次に2本目の柱といたしまして、地区ガバナーと副地区ガバナーの強い絆、複数年の連携が可能な政策を作成したいと思っております。ライオンズクラブの運営はキャビネットとクラブが密接な信頼関係のもとに、同じ理想のもとに進むべきではないかと思っております。それには情報、資料、人材、これをクラブとキャビネットとで共有し、協力し合える環境づくりが必要だと思っております。

さて、ある先輩から「私だってガバナーに就任するまでに30年かかったん

だよ。君のキャリアじゃまだ若すぎるよ。まだ早い」と。ならば、国際会則は
いかななものでしょう。国際会則では、ゾーン・チェアマンを半期経験すると
ガバナー立候補者の資格を有する、と明示されております。私が今回出た理由
はそこにあるのです。3本目の柱がこのことなのです。330-A地区は日本の
トップリーダーであると思います。また、あるべきだと思っております。その
ためには国際役員を視野に入れた人材を早急に育てなければいけないと思っ
ております。ガバナーになるのに30年かかっていたら（予鈴）世界に対して何
か物が言えるでしょうか。私はそこで、新しい道づくりを実践するために立候
補いたしました。次に続くであろう多くのライオンのために、キャリアあるメ
ンバーの指導のもとにキャビネット役員に若手を今以上に多用して、明るい将
来あるライオンズクラブの運営をしたいと思っております。

最後に、私は強く訴えたいことがあります。今回の選挙においては、本日に
至るまで目を覆うばかりの規則無視の違反行為が数多く行われてまいりました。
私は選挙規定を最後まで守り通しました。このことを胸を張って宣言したいと
思います。私は選挙違反をしませんでした。（終了の笛）向井委員長、よろし
いですね。私はやっておりません。民主主義における投票は無記名です。あな
たの1票は……

○本橋選挙管理副委員長

笛が3回鳴りましたので。

○丸山候補者

はい。ありがとうございます。

○本橋選挙管理副委員長

丸山L、ありがとうございました。（拍手）

続いて、東京練馬ライオンズクラブ所属の長井隆充候補者、お願いいたしま
す。（拍手）

○長井候補者

皆さん、おはようございます。

この度、副地区ガバナーに立候補いたしました私、L長井隆充でございます。
今、この壇上に万感の思いで立っております。限られた時間でございますので、
要点だけをかい摘んでお話し申し上げたいと思います。

選挙管理委員会のほうから提案されましたキャビネットの組織運営の重点政策は、まず第1番目に、単一クラブの自主性を尊重することにあるだろうと私は確信をいたしております。その意味でも、すべてのメンバーの総意と英知を結集してこそライオンズクラブの組織が成立し、推進されていくものと思われ
ます。

次に、会員増強の件でございます。会員増強の件につきましては、各単一クラブが地元においてアクティビティーを推進しておられます。このアクティビティーが決してライオンズクラブの独りよがりのもではなくて、地域の住民、あるいは青少年を巻き込んだアクティビティーをなしてこそ、地域からその高い信頼とライオンズクラブのステータスを評価されるものと思います。このことが魅力あるライオンズクラブとなり、そして新たな新入会員増強の大きな道が開かれていくものと信じてやみません。私たちは今、50年の歴史を経ております。過去の歴史や伝統に感謝しながら、新しい時代の来るべきライオンズクラブを構築するために今こそ何を挑戦すべきか。まさに本日のテーマの会員増強と組織の運営であります。

さて、先日、私は八王子ライオンズクラブの40周年記念式典に参加させていただきました。その時の中学2年生のお嬢さんが読まれた作文の一節をご披露させていただきたいと思
います。

ボランティアとは身近なところにある。1人で重い荷物を持って階段を上っているおばあさんがいる。「持ちましようか」。例え断られても立派なボランティアだ。どんなちっぽけなことだって、うまくいかなかったって、「ありがとう」という一言で誰もが笑顔になれる。ふと自分の足元に目を落としてみると、それだけにボランティアのきっかけがそこいらじゅうに転がっている。

この一節を周年式典で聞かせていただきました。私は感動と衝撃を受けたわけ
であります。今こそライオンズのメンバーがこの少女が唱えた作文の一節を真摯に受け止めて、ライオンズスピリットの原点を見つめる時ではないかと思
われてなりません。どうか皆様、よろしくお願い申し上げます。

ありがとうございました。（拍手）

○本橋選挙管理副委員長

長井L、ありがとうございました。

次に、東京上野東ライオンズクラブ所属の中村保彦候補者、お願いいたします。（拍手）

○中村候補者

おはようございます。東京上野東ライオンズクラブ所属・L 中村保彦でございます。

私は、キャビネット運営の透明化を図ることを重点目標にいたします。クリーンで誠実なキャビネットをつくります。それにはメンバー増強のための具体案も含め、4つの政策を提案します。すべてのクラブにホームページをつくっていただき、そのメンテナンスのお手伝いをキャビネットで行います。キャビネット内に広報室をつくります。3つ目に、ライオンズクラブの近未来像を具体的につくり上げ、発表いたします。4つ目に、財務の公開を行い、会計基準を創設します。

中島ガバナーが立ち上げ、各クラブに普及いたしましたメール通信、山浦次期ガバナーにもさらに改良され、普及されることと思います。私は両先輩のITの活用における事務経費の節約と、さらなる事務通信の業務の効率化を目指し、すべてのクラブにホームページをつくっていただきます。この効果はクラブ独自のアクティビティーが全国のライオンズクラブのメンバーにアピールすることができます。若いメンバーの活用が進み、クラブが活性化します。また、「ライオンズ必携」の国際協会の目的の中にあります商業、工業、専門職業、公共事業および個人事業の能率化を図る。それに沿った活用によって、新たな若いメンバーの確保を目指します。このホームページのキーステーションをキャビネットに置き、すべてのクラブとリンクし、キャビネットの広報室からライオンズクラブの活動をテレビ、新聞、ラジオ、雑誌等のメディアに正しく伝えます。そしてライオンズクラブ以外のボランティア、NPO、NGOと情報交換をし、国際的な災害救援活動などの実態を把握し、各クラブにタイムリーに報告します。

そしてライオンズクラブ活動の具体的な近未来像をつくり上げます。若く活動的なメンバーにとって魅力のある組織にリニューアルします。キャビネット事務局を含めて、ライオンズ会館の取得を目指します。そして 330-A 地区がつくり出した薬物乱用防止啓発運動を全日本に普及させます。

さらに少人数クラブの会員増強に対する特別プログラムを作成し、全面的に応援します。公共施設やレストランなどの例会運営を考え、年会費 6 万から 10 万円程度で運営できるクラブを立ち上げ、実践します。これには少額な年会費で行うことができるボランティアシステムを構築する必要がありますが、費用がネックとなって、入会を勧められなかった若い人たちをライオンズクラブに迎え入れることができます。

これらを実行するためには、まず、キャビネットの姿勢を正しく理解していただく必要があると思います。そのためにキャビネット運営の透明化を図るのです。クリーンで誠実で透明なキャビネットをつくります。地区会費、特別運営費、地区大会費等々、その使用、管理方法を各クラブに周知していただきます。（予鈴）特別委員会を設置して、キャビネットの会計基準を創設します。

私はこれまで多くのメンバー、師と尊敬する先輩諸兄、志を同じくする友人たちのおかげで成長いたしました。さらに多くの仲間を得ることができました。私、L 中村保彦は、この経験と情熱と勇気をもって副地区ガバナーに立候補いたしました。どうぞ皆様のご支援を賜りますよう伏してお願いいたします。ありがとうございました。（拍手）

○本橋選挙管理副委員長

中村 L、ありがとうございました。

続きまして、東京立川ライオンズクラブ所属の森山勇候補者、お願いいたします。（拍手）

○森山候補者

立川ライオンズクラブ所属の L 森山勇でございます。本日は、第 50 回の年次大会、誠におめでとう存じます。

私の名は、現在 NHK で放映されております大河ドラマの『新撰組』の近藤勇と同じ勇であります。近藤勇さんほどの剣の達人ではございません。香取慎吾さんほどの美男子ではありませんが、同じ多摩出身の森山勇でございます。

皆様にご記憶願いたいと存じます。近藤一族とか、土方一族など槍奉行に属して八王子千人同心とも呼ばれ、甲州口の警備と日光や江戸の火の番を務めておりました。本来の武士のような俸禄を受けておらなかったのです。半分武士のわけはラテン語で言うところの「ボランタス」、すなわち自由意思に

よる奉仕でありました。17世紀のイギリスでは、住民の生命・財産を守る自警団のことを「ボランティア」と言ったといえますから、多摩の人々は古くからボランティアを実行していたわけであります。「ウィ・サーブ」の精神も、「アワ・ネーション」の思想も、多摩地区には昔から根づいていたのであります。

しかし、残念ながらこの 50 年間、多摩地区から一度としてガバナーの選出がなされておりません。そこで今回、17 リジョンから 20 リジョンのリジョン・チェアマン、ゾーン・チェアマンならびに多摩地区 41 クラブのすべてのクラブのご推薦を賜り立候補させていただきました。1 リジョンから 16 リジョンの皆さん方、多摩地区からガバナーを出してやろうではないかという親心を持って、貴重な 1 票賜りますよう伏してお願いを申し上げます。

私のキャビネット運営の運営方針は、次のように考えます。

その 1. 地区キャビネット運営の重点目標は、キャビネット事務局を固定化することだと考えます。毎年、毎年、キャビネットをヤドカリのごとく移動することは経済的にも多大なロスがあり、メンバーの負担を強いる要因となっております。必ずやコストの減少につながるものと確信いたします。私がガバナーに就任いたしましたあかつきには、何をおいてもこのことを実現することをお誓い申し上げます。

その 2. メンバー増強のための具体的提案につきましては、ライオンズクラブの存在意義を再確認し、抜本的改革を実行することだと考えます。また、単一クラブあつての地区キャビネットであることを強く認識し、スモールキャビネットに徹すべきであると考えます。

最後に、地区の再編成であります。地区に合った編成にすべく各クラブの意見を取り入れて、そして協議し、（予鈴）地区の再編成を実施いたします。特に多摩地区のリジョンおよびゾーンの再編成については、各クラブの協調、協力、融和を損なうようなリジョンおよびゾーンの編成を是正いたします。

不肖私、森山勇はライオン歴 38 年の実績と各種社会福祉法人活動の経験を生かし、ライオンズ活動に邁進いたしたく、2004 年度の副地区ガバナーに立候補いたしました。諸先輩ガバナーとメンバーの皆様が長年にわたって築かれたこの素晴らしい 330-A 地区を守ることをここにお約束申し上げます。なにとぞ森山勇のこの思いをおくみ取りくださいます。ご支援を賜りますように伏

してお願い申し上げ、立候補の声明とさせていただきます。（終了の笛）

ご清聴ありがとうございました。（拍手）

○本橋選挙管理副委員長

森山L、ありがとうございました。

それでは、2分間の補足説明ないし他候補への反論をお願いいたします。

丸山候補者からどうぞ。

丸山候補者

先程は、大変演説下手でございまして、時間内に収まりませんでした。もう少し言いたいことがございました。

私は演説が苦手です。しかし、いくら熱弁をふるっても、約束したところでも、われわれでつくったルールを平気で破ってしまう。こういう方の信憑性は私はないと思っております。民主主義における投票は無記名でございます。皆様の1票は、単なる投票箱への1票ではなくて、皆様の良心への1票だと思っております。われわれの将来はわれわれが責任を持たねばなりません。今こそ決断の時です。本当にありがとうございました。（拍手）

○本橋選挙管理副委員長

丸山L、ありがとうございました。

次に、長井候補者、お願いいたします。

○長井候補者

頂戴しました2分間の中で、お話し申し上げたいと思います。

この度の選挙では、数知れない怪文書が乱れ飛びました。あえてこの壇上を拝借して申し上げたいと思います。私に対する誹謗中傷は限りなく厳しいものでございます。しかしながら、私はこの怪文書にあるような逮捕歴があるなどという、こんな悲しい私に対する誹謗中傷は事実無根であり、断じて許せることではないことでございます。さて、私の身分はともかくとして、ライオンズクラブはステータスや、そして知性を高める友愛と寛容の精神とライオンズ行動の中でも決してあってはならないこの行為がこの度の選挙で堂々と、しかも、伺いますと今朝まで続いていたということであります。このことは、私は決してライオンズクラブのフェローライオンの皆様方が許してはならない行為ではなかろうかというふうに思われてなりません。ごく一握りの人のこの行為

がかつても行われました。これを機会に、結果はともかくとして、二度とこのようなことの出ない 330－A の構築こそ日本の冠たる位置づけになっていくのではないかというふうに思います。

最後に、キザなことを言わせていただきます。「水はよく舟を浮かべ、また水は舟を覆す」という中国の故事がございます。水とはすなわちメンバー 1 人ひとりであり、そして単一クラブであると思います。舟とはまさにキャビネットであり、ガバナーだろうと思います。すべてのライオンズクラブの名誉はきょうお集まりの皆様方、あるいは代議員にはなっておられませんけれども、東京 5 千 8 百余名のメンバーの英知と意識の中に懸かっていると思います。ありがとうございました。（拍手）

○本橋選挙管理副委員長

長井 L、ありがとうございました。

続いて、中村候補者、お願いいたします。

○中村候補者

反論、補足説明は先程の 5 分間で、私は十分に意を呈したと思っております。最後に、ぜひ今回こそよろしくお願いいたします。ありがとうございました。（拍手）

○本橋選挙管理副委員長

中村 L、ありがとうございました。

それでは、森山候補者、お願いいたします。

○森山候補者

私は前ガバナーの方針に沿いながら、そして皆さんの英知を結集して、楽しい 330－A を構築したいと思っております。よろしくお願い申し上げます。（拍手）

○本橋選挙管理副委員長

森山 L、ありがとうございました。

以上をもちまして、4 候補者の公開討論は終了いたしました。

○司会

どうもありがとうございました。

向井委員長、本橋副委員長を除く指名・選挙委員会の皆様は、直ちに所定の

位置にて準備をお願いいたします。

向井委員長、投票についてのご説明をお願いいたします。

○向井選挙管理委員長

それでは、投票方法についてご説明いたします。

議案集 5 頁 6 項をご参照ください。投票会場はこの会場のちょうど後ろにございます。投票は各分科会ごとに行っていただきます。投票用紙は代議員証の一番上に付いております「投票用紙引替証」1 枚と交換に投票所前の受付で交付されます。

詳細については、本橋副委員長より説明をさせていただきます。

○本橋選挙管理副委員長

詳細につきましては、議案集 5 頁 6 項（イ）ないし（リ）に記載されておりますので、ご参照ください。

貴重な 1 票ですので、十分ご注意くださいと思います。なお、選挙を厳正かつ公平に行うため、投票終了後は議案集 5 頁記載、6 項（ト）に定められた者以外、開票場への立ち入りは禁止されておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、先程、清水幹事よりご説明がありました通り、今期より国際会則が変更になり、投票者過半数以上の票をもって当選と決まりましたので、それぞれの候補者が過半数に満たない時は、上位 2 名の決戦投票となります。時間の都合上、その場合は式典終了後に代議員会を再開、第 2 回の投票を行いますので、よろしくお願いいたします。

○藁谷和家代議員（東京 藁谷 LC）

済みません。質問よろしいでしょうか。

○司会

今、質問の時間じゃありません。

本橋副委員長、ありがとうございました。ガバナー、その次を進めてください。

○藁谷代議員

選挙委員会に対する質問だから、いいんじゃないでしょうか。

議案集の 5 頁に、決戦投票は直ちに行う、ということがあるのが何で式典の

後に行うのかと。これは直ちにじゃないじゃないですか。

○議長

本日の朝までに動議を書面で提出されていない。また、昨年7月から4月17日の年次大会は判明していたはずでございます。ですから前もって提出をお願いしてあったはずですので、受付できかねますので、もしどうしてもということであれば、指導力委員長にお答えをお願いしたいと思います。

幹事、進めてください。

(会場より「議事進行！」の声あり)

○柴田誠代議員(東京新都心LC)

議長！ 動議じゃなくて、質問ですから。

○司会

ガバナー、瀧澤議事運営委員長と、会員・指導力委員会の曾根原委員長に振ってください。

○議長

それでは、瀧澤委員長、曾根原委員長、ひとつそれについてお答え願いたいと思います。

○曾根原会員・指導力委員長

藁谷代議員のご質問は質問者としては当然だとは思いますが、本日の議事進行につきましては、議事運営委員会が存在しておりまして、選挙管理委員会とも十分協議し、本日の議事日程の進行は時間内に終了しなきゃならない。こういうことに基づいて運営がされておりますので、議長の方針に基づいて、議長が取り扱わないという場合には、これは議事運営上大変必要であっても、議事運営委員会の方針に従って粛々と終了させていただきたいと思います。(拍手)

○司会

ありがとうございました。

では、中島議長、その次の今の本橋副委員長からのものに移しまして、よろしく願いいたします。

○議長

ところで、本日、会議議案作成の後に東京墨東ライオンズクラブ所属の上野

滋朗Ⅰから、「アフガニスタン教育支援に関する会計、金銭出納調査の件」として緊急に議案の提出がございました。緊急提案の内容は、「2003 年～2004 年度において実施されたアフガニスタン教育支援に関する会計処理、金銭の出納について調査委員会を設けて調査する。調査委員会は今期中に調査に着手し、来期の早い時期にその調査結果を取りまとめ、今期ガバナーおよび次期ガバナーに報告する」となっております。

議長といたしましては、この提案を相応なものと認め、第 50 回年次大会議事規則第 8 項後段の定めに従い本大会の議題として取り上げ、経理分科会の審議に付したいと存じます。皆様方のご賛同をお願いしたいと思います。（拍手）皆様のご賛同を頂きましたので、経理分科会に付議いたします。

それでは、地区ガバナー、副地区ガバナー指名・選挙委員会・向井委員長、投票開始宣言をお願いいたします。

（投票開始宣言）

○向井指名・選挙管理委員長

ただいまより、2004 年～2005 年度副地区ガバナー選出の投票を開始いたします。

○司会

これより投票に入り、その後、それぞれの分科会に分かれて議案審議・シンポジウムに入ります。会場ならびに移動について、副幹事よりご説明申し上げます。

銭場Ⅰ、よろしくお願いいたします。

（分科会場の説明）

○銭場大会副幹事

それでは、ご説明をいたします。各分科会会場につきましては、お手元の議案集 42 頁に記載されていますので、ご参照ください。

各会場までは会場部会がプラカードプラカードを持って順次ご案内申し上げます。

ますので、そのままのお席でお待ちください。

それでは、代議員の皆様は副地区ガバナーの選挙の投票を行った後、各分科会会場にお進みください。なお、移動については会場部会がプラカードを持って各会場へご案内いたします。

各分科会審議終了後、ご昼食をお済ませの後、当「鳳凰の間」において 13 時より代議員会を再開いたします。

各分科会別の進行を申し上げます。

まず最初に、経理分科会とアクティビティ（Ⅰ）分科会の方、お進みください。ステージ上の正副委員長、顧問の方々も、所属分科会の方々と共にお進みください。分科会会場は、経理分科会が 3 階「紅梅」、アクティビティ（Ⅰ）分科会は 11 階の「末広」でございます。

会員・IT・エクステンション・LCカード分科会とアクティビティ（Ⅲ）分科会の方、お進みください。分科会会場は、会員・IT・エクステンション・LCカード分科会は 3 階「ゴールデンカップ」、アクティビティ（Ⅲ）分科会は 11 階の「高砂」でございます。

次に 3 番目でございます。政策・会則分科会とアクティビティ（Ⅱ）分科会の方、お進みください。会場は、政策・会則分科会は 2 階「サンフラワー」でございます。アクティビティ（Ⅱ）分科会は 2 階「鳳凰の間」でございます。

以上の順番でお進みいただきたいと思います。プラカードをお持ちの方は、ぜひ進行をよろしくお願い申し上げます。ホテルの方、どうぞドアを開けてください。

それでは、最初に経理分科会、アクティビティ（Ⅰ）分科会の方、お進みいただきたいと思います。

（以下、順番に従って各分科会移動）

（投票終了宣言）

○向井選挙管理委員長

ただいまをもちまして、すべての代議員による次期副地区ガバナー選挙の投

票が終了したことを宣言いたします。（11 時 20 分）

（分科会審議・昼食）

13 時再開

（再　　開　　宣　　言）

○司会

ただいまより、代議員会を再開いたします。

議長、よろしくお願い申し上げます。（拍手）

○議長

これより代議員会を再開いたします。

その後の追加登録代議員数を倉並資格審査委員長、ご報告をお願いいたします。

○倉並資格審査委員長

午前中にご報告申し上げました代議員数に変更がございません。本日の出席代議員数は 564 名でございます。

以上でございます。（拍手）

○議長

倉並委員長、ありがとうございました。

○司会

続きまして、次期地区ガバナーを議長よりご紹介いただきます。

○議長

先程の代議員総会で満場一致で 2004 年～2005 年度 330－A 地区ガバナーに選出されました東京新宿ライオンズクラブ所属・山浦晟暉 L をご紹介いたします。

山浦晟暉 L、おめでとうございます。どうぞこちらへお越しください。

（ガバナーエレクト自席よりステージへ、議長と握手）

よろしくお願いします。（拍手）

それでは、ガバナー・エレクトより、次期地区大会開催地ならびにホストクラブの発表をお願いいたします。（拍手）

○山浦ガバナー・エレクト

ご紹介いただきました山浦でございます。

来期年次大会開催地は東京都。ホストクラブは第 11 リジョン・1 ゾーン、2 ゾーンの各クラブでございます。どうかよろしくお願い申し上げます。（拍手）

○議長

どうもありがとうございました。どうぞガバナー・エレクト席へお進みのうえご着席ください。

（各委員会・分科会報告および決議）

○司会

次に、決議委員会・各分科会の報告を中島ガバナーよりお願いいたします。

○議長

深田決議委員会委員長よりお願いいたします

○深田決議委員長

決議委員会の委員長を務めております山浦でございます。

決議委員会の報告をただいまから行いますが、それに際しまして、議長にお願いがございます。決議委員会・分科会の審議結果の報告を各分科会の委員長から直接発表していただきたいと思いますと思いますが、よろしゅうございますでしょうか。

○議長

はい。ただいまの深田委員長の申し出を了解いたします。

○深田決議委員長

ありがとうございました。

それでは、まず最初に、政策・会則分科会の報告を委員長・楠田直樹山浦、お願いいたします。

○楠田政策・会則分科会委員長

ただいまご紹介いただきました政策・会則分科会の委員長・L楠田でございます。

政策・会則分科会は、地区ガバナー提案の2件の議案を審議し、2件とも原案通り賛成多数で可決決定いたしました。

可決決定された決議は、まず、第1議案として、330-A地区の分割について継続審議することを「当面の間停止する」

そして第2議案が、「副地区ガバナー選挙に関する規定」付則第2条（この規定の改廃は、330-A地区のキャビネット会議を経て、年次大会における決議によるものとする）の「を経て、年次大会」を削除する、でございました。

以上をもって政策・会則分科会の報告といたします。どうもありがとうございます。（拍手）

○深田決議委員長

楠田委員長、ありがとうございました。

それでは続きまして、経理分科会の報告を委員長・秋山巖L、お願いいたします

○秋山経理分科会委員長

経理分科会より発表させていただきます。

出席者59名、これは100%でございました。

1から9議案までありますので、早速発表させていただきます。

第1号議案「2003年－2004年度330-A地区上半期会計報告書承認の件」、原案の通り決定しました。

2号議案「2002年－2003年度330-A地区会計報告書承認の件」、これは去年の会計報告書についてであります。これは第4回キャビネット会議に審議を委任することに決定しました。

第3号議案「2004年－2005年度地区費として1メンバー1ヶ月550円拋出の件」、原案の通り決定いたしました。

4号議案「2004年－2005年度地区特別運営費として1メンバー1ヶ月200円拋出の件」、原案の通り決定いたしました。

5号議案「2004年－2005年度地区大会費として1メンバー1ヶ月100円拋出の件」、原案の通り決定いたしました。

6号議案「2004年－2005年度地区特別大会費として1メンバー1ヶ月 50円抛出の件」、原案の通り決定いたしました。

7号議案「2005年3月より6ヶ月間行われる日本国際博覧会（愛・地球博）支援事業（未来を託す青少年を招待する）を協賛するため、メンバー1名当たり金1,000円を抛出する件」、原案の通り決定いたしました。

第8号議案「2005年2月長野県で行われるスペシャルオリンピックスを支援するため、協賛金としてメンバー1名当たり金300円を抛出する件」、原案の通り決定いたしました。

第9号議案、これは緊急提案書によってガバナーより認められた議案でございます。「2003年－2004年度において実施されたアフガニスタン教育支援に関する会計処理、金銭の出納について調査委員会を設けて調査する。調査委員会は今期中に調査に着手し、来期の早い時期にその調査結果を取りまとめ、今期ガバナーおよび次期ガバナーに報告する」、原案の通り決定いたしました。

以上で報告を終わります。ありがとうございました。（拍手）

○深田決議委員長

秋山委員長、ありがとうございました。

それでは続きまして、会員・IT・エクステンション・LCカード分科会の報告を委員長・中島徳男L、お願いいたします。

○中島会員・IT・エクステンション・LCカード分科会委員長

L中島徳男です。

一つ、スローガンの提出クラブより提案の説明がありました。アクティビティースローガンとして、東京新宿ライオンズクラブ提出の「叡智を絞り、皆で考え、共に行動！！」を決定いたしました。

そしてシンポジウムです。各委員会の委員長様が出席され、ならびに皆様ととても有意義な素晴らしいシンポジウムが開かれました。もちろん顧問の方もいらっしゃっておいりました。

さて、内容です。サンシャインライオンズクラブからエクステンションした体験談がなされました。感動を受けて、皆さんは聴いてておいりました。

2. 桜田門ライオンズクラブの幹事さんより、現状報告がありました。今期10名に会員増強。また、年会費を年間12万を実施したということ。会員増強

は素晴らしい今の時代にもっともっと 50 名、100 名としたいという体験発表をされておりました。そしてもう 1 点、会員増強はヤング、シニア含めて、まだまだ十分な可能性があるという話でございました。

また、もう 1 人の質問者からは、シニアライオンズクラブについての質問がございました。「複合ではあるけれども、準地区はいかがなものか」、「準地区でも努力されている。それについてはさらに努力する」との担当委員会委員長からの説明がありました。まだまだあと 2 カ月ですので、今期、中島ガバナ体制の中で素晴らしい成果を収めたいというお話がありました。

以上です。ありがとうございました。（拍手）

○深田決議委員長

中島委員長、ありがとうございました。

それでは続きまして、アクティビティ（Ⅰ）分科会の報告を委員長・上本芳正 L、お願いいたします。

○上本アクティビティ（Ⅰ）分科会委員長

ただいまご紹介いただきましたアクティビティ（Ⅰ）分科会委員長・L 上本芳正でございます。報告させていただきます。

「日本の盲導犬の歴史と今日の活動と現実について」というテーマで、日本の盲導犬について約 30 分の講演がありました。初めて聴かれるメンバーもよく理解し、また、深く感銘を受けました。

献血・骨髄移植推進委員会は今後も従来通り継続する。それから献腎・献眼・オープニングアイズ委員会も今後、従来通り継続する。なお、年 1 回、両委員会合同の P R を兼ねたアクティビティを行うというふうなことの報告がございました。

以上をもって報告とさせていただきます。どうもありがとうございました。（拍手）

○深田決議委員長

上本委員長、ありがとうございました。

それでは続きまして、アクティビティ（Ⅱ）分科会の報告を委員長・渡辺晃 L、お願いいたします。

○渡辺アクティビティ（Ⅱ）分科会委員長

アクティビティー（Ⅱ）分科会委員長のL渡辺晃でございます。報告させていただきます。

当分科会は2点ともシンポジウムということでございましたので、テーマは「LCIFについて」と「海外支援の必要性について」の2点でございました。姉川LCIF委員長および田倉国際協調委員長の経過報告、説明の後、熱心な質問と討議がなされました。概ね両テーマとも現在のキャビネット活動は評価されるものであります。

大きな課題として、次の提案が多数発言されました。海外教育支援の場合、その対象活動は1年間では終わらず、数年にわたるケースが多いということ。しかるに今の単年度で終了するキャビネットの運営では、これに対応できないのではないか。今後は特別委員会、特別会計を設け、次期キャビネットが透明性の高い継続支援がなされる必要があるのではないか。それを今後、次期キャビネットについて、ぜひ検討いただきたい、ということが概ねの発言でございました。

ということで、シンポジウムということで有意義な1時間を過ごして、皆さんの納得のいくシンポジウムになったことを報告させていただいて、これで終わりたいと思います。（拍手）

○深田決議委員長

渡辺委員長、ありがとうございました。

それでは最後になります。アクティビティー（Ⅲ）分科会の報告を委員長・中村桂吾L、お願いいたします。

○中村アクティビティー（Ⅲ）分科会委員長

アクティビティー（Ⅲ）分科会はシンポジウムでございました。

テーマは「YEプログラムの現状と将来について」。現状は、本年度は派遣生は37名、昨年度分を含むそうでございます。受け入れはタイから8名ということで、要望は、330複合地区合同キャンプを実施する。YEプログラムの重要性を各クラブへ積極的にPRし、参加を働きかける。ホスト家庭の増加を図る。こういうことでございます。

テーマ2「薬物乱用防止活動の現状と今後の課題について」。薬物乱用防止教育認定講師が1年目で700名強となり、着実に増員しているということでご

ございます。330-A地区より合同の全国の準地区への認定講師制度の普及PRを18地区で実施されているそうでございます。対策として認定講師となられたメンバーの質向上再教育を図る。薬物乱用防止教育認定講師制度をさらにPRし、全国準地区へ普及を図る。それと合成麻薬「MDMA」が身近に安易に入手できるため、さらに低学年の薬物乱用防止教育を行わなければならない。これは小学校5、6年ということでございます。そのほかいろんな参加メンバーの方からご意見をいただきまして、有意義なシンポジウムでございました。

ご報告させていただきます。ありがとうございました。（拍手）

○深田決議委員長

中村委員長、ありがとうございました。

以上をもちまして各分科会の報告を終わらせていただきます。ありがとうございました。（拍手）

○議長

大変ありがとうございました。

ここで一括方式により、各分科会の報告内容について、ご承認の拍手をお願いいたします。

【拍手多数】

ご承認頂きまして、どうもありがとうございました。

ここで代議員会を一時休会させていただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

○司会

どうもありがとうございました。式典終了後、代議員会を再度再開させていただきます。代議員の皆様、ご協力ありがとうございました。

長時間にわたる代議員の皆様のご協力に深く感謝申し上げます。

これより皆様に大会式典のご案内を申し上げます。

大会式典は14時20分よりこの「鳳凰の間」にて開会いたします。ご来賓の皆様のご関係もありますので、必ず14時10分までにこの会場にお入りいただきますようお願い申し上げます。

なお、式典終了後に代議員会を再度再開し、再投票を行うようになろうかと思っておりますので、代議員の皆様は「鳳凰の間」の各分科会のお席にご着席いただ

きますようお願い申し上げます。

どうもありがとうございました。（拍手）

（休会）

代議員会再開(選挙第一回投票結果発表)

○ 司会

当初申し上げましたとおり、代議委員会の再開をさせていただきます。向井委員長宜しくお願い致します。

発言者不明

早く発表しろ！何をしてるんだ！

聞こえないじゃないか！

○ 向井委員長

発表致しますから静かにお願い致します。

投票総数 5 6 4 票、・・・・（わいわいがやがや）

○ 司会

静かにして下さい。

発言者不明

質問をしているのに、何が悪いんだ！（わいわい、がやがや）

司会・・黙って聞け！このやろう！何を騒いでいるんだ！

向井委員長

随分騒がしい様で御座いますけれど、私のほうは勝手に進めさせていただきます。（拍手）

投票総数 5 6 4 票、有効票数 5 5 9 票、白紙 2 票、無効票 2 票、投票棄権票 1 票。

以上の結果

東京浅草 LC 丸山真司 L78 票、東京練馬 LC 長井隆允 L184 票、東京上野東 LC 中村保彦 L211 票、東京立川 LC 森山勇 L86 票、立会人 4 名のサインを頂きましてその結果長井隆允 L と中村保彦 L の 2 名の決戦投票ということになりました。以上報告を終わります。

質問者不明

代議員をどうやって確認をしたんですか?確認をしてないでしょう。

向井委員長

代議員を確認をするということについては、皆さんの良識に任せるということが原則になっておりまして、一人2票出すと言うことはあり得ない。皆さん良識の持ち主だという事を前提に設営しております。

なお、昨日の事でございますが選挙管理委員長・向井利男名義で出された「はがき」は、私は一切関係が御座いません。

これは読まなくても良いのではないかとおもいますが、読まなくてはいけないのですか? (読んで、読んで。)

代議員登録の受け付けの時間は午前9時から午前9時50分カッコ厳守、9時50分以降第1回代議員集計後に引き続き代議員登録受付を開始致しますが、投票権を行使出来なくなりますので、投票用紙引換券を受け付けにて回収させていただきます。以上は私どもが事前に代議員の皆さんにお知らせした内容で御座いますが、その後にはですね、なお3月29日選管並びに中島ガバナー名で発信した文書中の長井候補の犯歴について、事実無根との回答をあたかも選管がしたかの如きFAXが届いた様であるが、当該犯歴については本人のみぞ知る事であります。懲役刑についても長井候補の場合は執行を終えて10年間を経過しており、刑の消滅ともいえます。宇田川L小坂Lを除く元ガバナーは長井候補の推薦を辞退されましたのでご連絡致します。と云う内容の手紙とFAXがきた様で御座いますけれども、私ども選挙管理委員会では一切関係は御座いません。ここにお誓い致しますのでご諒解頂きたいと思います。以上で御座います。(拍手)

発言者不明

なんで決選投票の前にそんな事を言うんだ! おかしいじゃないか!

向井委員長

これはあくまでもですね、公文書偽造と私の方は判断した為に、これは所謂、所謂・・・ま、怪文書ですね、私ども委員会は最初から来ている怪文書については一切とり上げないと云う方針で運動を続けて参りました。従いましてこれも昨日私の手元に F A X で入った訳でございます。

○ 銭場副幹事

向井委員長お話はもうおやめ下さい。取り敢えずご趣旨は判りましたけどお話は中止して下さい。今、向井委員長からお話がありました通り、お二人の決戦投票となりましたので代議員の皆様につきましては、恐れ入りますが前回と同じ出口から投票所で投票をして頂いて、待機して頂きたいと思います。宜しくお願い申し上げます。

順次、入口のほう～少し時間を調整しながら投票をお願いしたいと思います。

投票が終わりましたら開票の結果を発表を致しますので、又お戻り頂きたいと思います。

式典終了

○ 司会(銭場副幹事)

恐れ入りますが、この場所は控え室として用意してありましたが、ご存知の通り時間が非常に延びておりまして、鳳凰の間は晩餐会の用意のため、準備中でございます。恐れ入りますが特別なご許可を頂いて、この場所を代議員の再々会場と言うことでご理解を頂きたいと思います。宜しくお願い申し上げます。

拍手

有難う御座いました。それでは選挙の結果を向井委員長より発表して頂きます、向井委員長宜しくお願い致します。

○ 向井委員長

それでは選挙の結果を発表させていただきます。

投票総数 5 0 5 票、有効票数 490 票、白紙 8 票、無効 7 票、

棄権は御座いませんでした。

すいません、外の方がお入りになりましたので、もう一回最初からやり直させていただきます。

投票総数 505 票、有効票数 490 票、白紙 8 票、無効 7 票
合計 505 票ということになります。

東京練馬 LC 長井隆允 L 192 票、東京上野東 LC 中村保彦 L
298 票。

従いまして、次期副地区ガバナー・エレクトは中村保彦 L と決定いたしました。

司会（銭場副幹事）

どうも有り難う御座いました。以上で選挙管理委員会の発表を終わります、これにて、代議員会を終了いたします。なお、今「鳳凰の間」の準備につきましては完了したという報告が入っておりますので、このまま晚餐会に移りたいと思いますので「鳳凰の間」にお移り頂きたいと思います。

どうぞ宜しくお願い致します。

司会（清水幹事）

これをもちまして、第 50 回年次大会代議員会、式典を終了致します。皆様・長時間のご協力有難う御座いました。